

読売新聞 きょう（1月11日）のイチ押し

社会面 ヤングケアラー 自覚なく孤立

家事や家族の世話をしている18歳未満の子どもたちは「ヤングケアラー」と呼ばれます。ケアラーの中には自覚がないまま誰にも相談せず、孤立するケースも少なくなく、実態が見えづらいのが実情です。

- ★ 滋賀県在住の通信制高校2年の女子生徒（17）は、小学校1年の時からうつ病の母親（45）と知的障害のある妹（14）の世話をしています。友達とはまったく違う生活を続けてきましたが、「これが私には普通の暮らし。家族を守りたいだけ」と話します。
- ★ 子どもが親の手伝いをするのは大事なことです。しかし、親に代わって家事の責任を負うのは負担が大きく、学校生活にも影響が及びます。幼い頃からケアが当たり前になると、自分がケアラーだと自覚がない子どもも多く、周りの大人が気づき、支援につなげることが重要です。

2社面 映画「ドライブ・マイ・カー」 米賞レースを席卷

村上春樹さん原作で、濱口竜介監督の映画「ドライブ・マイ・カー」が、ゴールデン・グローブ賞の非英語映画賞（旧外国語映画賞）を受賞しました。邦画の受賞は1960年の「鍵」（市川崑監督）以来、62年ぶりです。この作品は同賞のほか、全米映画批評協会賞で、作品、監督、脚本、主演男優の各賞に輝いたほか、昨年もニューヨーク映画批評協会賞とロサンゼルス映画批評家協会賞の作品賞を受賞するなど快挙が続いています。いずれも3月に授賞式が行われる米アカデミー賞の前哨戦とされ、相次ぐ受賞にアカデミー賞での栄冠に期待がかかります。

他紙と比べて

本紙などが後援するサッカーの第100回全国高校選手権大会は、青森・青森山田が3度目の優勝を果たして閉幕しました。青森山田は昨年、一昨年と2大会続けて決勝で敗れていましたが、今年度は、高校総体、U-18プレミアリーグを制した勢いそのままに、初優勝を狙う熊本・大津に1本のシュートも打たせず、4-0で圧勝しました。1面、2面、スポーツ面（20、21面）でその活躍を手厚く報じています。